

## ブラタモリで郷土史を学ぶ

知る人ぞ知る(?)郷土山形の特異な歴史を「ブラタモリ」から教わることとなりました。NHKの番組紹介によれば、(芸人)タモリが江戸時代・明治時代などの古地図を手に、日本の各地・地方など毎週、街を散策し、その街に古くから残る建造物・神社・公園・坂道・通り・観光スポット・飲食店・駅・川・橋などをタモリ独自の視点で楽しみながら、現代の街並みに残る《歴史の痕跡》を発見する…“探検・散歩番組”が「ブラタモリ」である。

先月放送の「ブラタモリ#243」は、「山形～山形は何度も生まれ変わる?～」というテーマで舞台は山形市内。●山寺はなぜ信仰の聖地に?●山形藩初代の最上氏は全国有数の57万石の大名だった?●後年の新生山形の立役者は**紅花**と明治の都市計画銀座煉瓦街を手掛けた明治の役人による東北随一の**超モダン**の都市計画!などのテーマで、タモリがブラブラ歩いて解き明かしてくれました。地元の私でも驚きの内容でしたが、ご縁の深い他県の志ネットワークの会員諸氏からも、「山形の奥深さや素晴らしさが理解できた!」とうれしい言葉をいただきました。地元にながら●家康に味方し大躍進の最上義光が築城した山形城は、…江戸城を筆頭の上位5番の大城郭であったとか。後に、最上藩はお家騒動もあり、改易(幕府が没収し、藩は取りつぶし)され、以降山形は大名たちの“左遷先”と揶揄されるほどの地に成り下がってしまった…●そんな格付けが下がる一方の江戸期の山形を、生まれ変わらせたのは超高級な染料**「紅花」**の存在であり、銀座煉瓦街を手掛けた明治の役人(三島通庸)による東北随一の超モダンな**「都市づくり」**により、新生山形は甦ることとなったという。

ところで、良質の米作地帯であったはずの山形藩の石高が、最上氏以降はわずか数万石にまで下がってしまった事情は、入れ替わりの激しい藩主交代の歴史と密接に関わっており、米どころ山形の農地の多くが天領(幕府直轄)となってしまったことによるようです。

この辺の事情(歴史)が理解できていれば、今回の**山形編ブラタモリ**に先立つ2018年初回放送の「酒田～酒田はなぜ日本の中心!?～」**酒田編ブラタモリ**(何故、西回り航路の起点となり、北前船の時代に繁栄を極めた場所となったのか?)との流れが理解できます。●江戸から遠く離れた酒田が日本の物流の中心地になったのか?●最上川を生かした水運と豊富にとれる米、そして北前船がもたらす全国の産物の日本一の交易港となりえた訳は?



文翔館/山形市

山形編ブラタモリと酒田編ブラタモリのおかげで、遅ればせながら、私の郷土山形の歴史探索は完結(整理)できることとなりました。

奇遇ですが、タモリこと森田一義氏は、私とほぼ同時期(入学と卒業は私が一年先でしたが)に、女優吉永小百合さんや政治家田中真紀子さんとキャンパスで遭遇するチャンスがあった校友の一人です…。